浄土真宗東本願寺派 野中山 正山寺

ほっ寺通信

※皆さんでご覧ください。

第２２号

令和２年６月２６日
＜発行責任者＞
（住職）藤野慶正

盂蘭盆会中止

例年8月の第一日曜日に行っております盂蘭盆会法要ですが、この度の新型コロナの影響を考慮し、中止することになりました。記事執筆現在（6月上旬）、幸い感染者も収束方向にあり、緊急事態宣言も解除され、8月であれば行うことも可能かとも思われますが、まだまだ安心してお集まり頂く段階にはないと判断しました。ご了承下さい。（世話人会での決定、各種イベント中止も考慮の上）

１１月の報恩講に関しては、９月の状況を見て、役員相談の上、開催の判断をしたいと思っております。（なるべく行う方向で）

世話人様付きの檀家さんにおかれましては、今年度の維持費・管理費の集金は、その判断を待ってから(9月以降)となりますので、ご承知おきください。

住職の仏々

それにしても、コロナ渦が地球規模でここまで蔓延するとは予想だにしておりませんでした。３月からの自粛励行の中、コメディアン志村けんさんの死去のニュースが日本中を駆け巡り、このウイルスの恐ろしさを誰しもが実感したのではないでしょうか。人間誰しもいずれは死にます。しかし、普段その実感が沸かないまま「のほほん」と生きているのが私達ではないでしょうか。このウイルスの渦中、志村けんさんが身を持って私達にそのことを教えてくださっいるのかも知れません。私達はそのことを踏まえ、感染に注意するのは当然として、いつ亡くなったとしても悔いの残らぬよう、一日一日を大切に過ごしていくことが大事になるかと思います。そして、それが亡くなられた方々へのご供養にも繋がるのではないでしょうか。

浄土真宗の教えでは、亡くなられた方はもれなく、阿弥陀仏のお力により、極楽浄土に往生（往相回向）されます。そして、更に、この世に仏として私達の心に戻ってきて（還相回向）、私達のことを見守り、導いてくださる存在となっております。このことを忘れずに、見られても恥じぬよう精進し、日々感謝の生活を心がけてください。それが阿弥陀仏、そして亡き方々（諸仏）の願いであると知って下さい。

お盆の迎え方

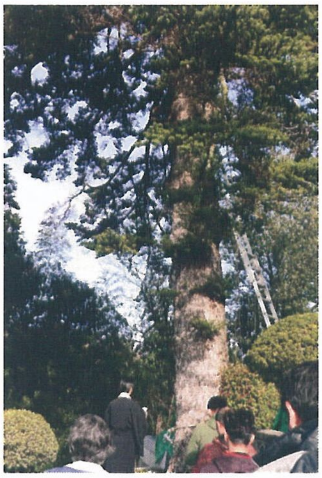
昔からお盆といえば、一般的に、亡くなられたご先祖がこの世にかえってきて、お盆をわが家で過ごし、またあの世にかえっていく。その霊を供養し冥福を祈ることとして迎えるものだと考えられているのではないでしょうか。迎え火・送り火などの風習もそういった考えの表れでしょうか。

しかし、浄土真宗のお盆の捉え方は異なり、特別なお飾りや迎え火・送り火もしません。前節でも述べた通り、ご先祖は、極楽浄土に往生されておりますので、冥福を祈る必要はなく、逆に私達のことを心配され、導いてくださる諸仏になっておられるのです。ですので、私達から亡き人への「先祖崇拝」ではなくて、私達自身が仏法に生きる者となってこそ、本当に亡き人を大事にすることになるのではないでしょうか。

亡き人を案じる私が、実は亡き人から案じられている身であったことに気づき、あらためて、人間として生まれた尊い命に感謝し、生きる意味を考えるきっかけとなるような機縁としてお盆を迎えて頂ければ幸いです。

（参考）お盆については、この「ほっ寺通信」の第一号に「お盆ってなぁに？」として取り上げております。かれこれ7年前の記事になりますのでお忘れの方もいらっしゃるかと思います。ご一読頂ければ幸いです。紛失された方は、ホームページをご覧ください。

巨木伐採



前回の寺報でお知らせした通り、巨木（もみの木）の伐採を3月3日に行いました。その際、寺族・施工業者参列の元、長年に渡り当寺を見守っていただいたもみの古木に対し、その終焉の全うを賛嘆するとともに、み仏ご守護の中、工事滞りなく、報謝の内に、遂行されることを願い供養の読経をさせて頂きました。幸い、特に問題なく無事に伐採出来たことを報告させて頂きます。

高さ30m 切断面直径1.5m
樹齢300年以上(推測)の
もみの木でした。
施工業者の卓越なる技術
により無事完了しました。
関係各位に感謝です。

月例会

正山寺では、月一回（基本的に第二火曜日）、皆様との交流の場として、月例会（読経練習と法話や写経）を行っております。遠慮なくご参加下さい（無料）。なお、初めての方は、電話やメールにてお問い合わせ下さい。

現在、コロナの影響で休会しておりますが、9月から再開する予定です。写経は、阿弥陀経や色々な経典の書写を行っています。経典に限らず書写してみたい作品がありましたらご相談下さい。今までに、千字文や歎異抄、写仏（笑）なども行ったことがあります。

■日程
（令和二年）
九月　八日
十月十三日
十二月　八日
（令和三年）
一月十二日
二月　九日
三月　九日
四月十三日
五月十一日
六月　八日
七月十三日

■時間
午前九時三十分から十一時頃まで

■場所
正山寺庫裏または 休憩所

※八月と十一月は休み。日程変更はホームページにてお知らせします。

坊守（ぼうもり）のコラム ※住職の妻

新型コロナウィルス、大変恐ろしい世の中になりました。皆様ご無事に過ごされておりますでしょうか？医療従事者や関係者の方々、その他危険と隣合わせの中お仕事に従事されている方々、大変お疲れ様です。寺では、ご法事の際の対応として、玄関先での消毒液設置、庫裡・本堂での参列者様の間隔をあけての座席配置、換気、寺族のマスク着用（但し、住職は読経中のみマスクを外させて頂いております）等、出来る範囲での予防対策をしております。

さて、小二になった息子は、この長い休みの間、宿題の漢字に苦戦していました。「なんでこんなに難しいの？大人になったら覚えるから今やらないでいいでしょ。」とさじをなげそうに…。いえいえ、「大人になるまでに、もっと沢山の漢字を覚えないといけないから、少しづつ覚えていくんだよ」と説明しました。自分の好きな映画の登場人物や場面、セリフ等は、いとも簡単に覚えられるのに、漢字や九九となると難しいようです。まだまだ長い道のり、頑張ってもらいたいものです。

あとがき

コロナ渦最中の執筆でしたが、緊急事態宣言も解除され少しホッとしておりますが、まだまだ油断してはいけませんね。皆様くれぐれも注意してお過ごしください。

（お詫び）前回お送りしたバスの時刻表ですが、町田路線の一部に間違いがありました。申し訳ありません。また、暫くは土曜は日曜の時刻表が適応されるようですので、ご注意下さい。合わせて、ホームページ等でご確認下さい。

寺報「ほっ寺通信」　第２２号
浄土真宗東本願寺派
野中山　正山寺
住　職：藤野慶正（発行責任者）
住　所：〒１９４−０２０１
町田市上小山田町１５０４
電　話：０４２−７９７−１４４６
ＦＡＸ：０４２−７９７−９２３３
ＵＲＬ：http://shousan.net
メール：info@shousan.net